

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第3回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報 告（公開）

- ・地域活動支援事業の採択結果について
- ・江端三叉路の信号機廃止について
- ・中山間地域農業の維持・振興に向けたワークショップの開催状況と今後の展開について

（2）協議（公開）

- ・新たな自主的審議事項について

（3）その他（公開）

3 開催日時

令和4年7月6日（水）午後6時30分から午後8時20分まで

4 開催場所

中郷区総合事務所 第4会議室

5 傍聴人の数

5人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委 員：竹内靖彦（会長）、高橋京子（副会長）、荒川清尊、漆間和美、高橋達也、竹内昭彦、松原功、宮川昇藏、村越勝彦、陸川昇一、陸川陽一、（欠席1人）
- ・事 務 局：中郷区総合事務所 高波所長、内藤次長（総務・地域振興グループ長兼務）、宮尾市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、桐山地域振興班長、津島地域振興班主事、恩田総務班長、不破税・市民生活班長、高橋福祉班長、野坂教育・文化班長
板倉区総合事務所 関根産業グループ長（以下、グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【桐山班長】

- ・会議の開催を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内（靖）会長】

- ・会議録確認を松原功委員と宮川昇藏委員に依頼。
- ・報告事項（1）地域活動支援事業の採択結果について、報告を求める。

【津島主事】

- ・資料により、今年度の地域活動支援事業の採択結果について報告。

【全委員】

- ・質疑なし

【竹内（靖）会長】

- ・報告事項（2）江端三叉路の信号機廃止について、報告を求める。

【恩田班長】

- ・資料により、江端三叉路の信号機廃止について報告。

【全委員】

- ・質疑なし

【竹内（靖）会長】

- ・報告事項（3）中山間地域農業の維持・振興に向けたワークショップの開催状況と今後の展開について、報告を求める。

【関根G長】

- ・資料により、中山間地域農業の維持・振興に向けたワークショップの開催状況と今後の展開について報告

【陸川（昇）委員】

- ・高齢化が進む中、米だけに頼ることなく、畑作における特産物は必要と考える。ある程度の収入が見込めることが重要。

【荒川委員】

- ・根曲がり竹に目を付けたところはよい。栽培が大変とも聞くが、挑戦していくことは良いこと。

【竹内（昭）委員】

- ・計画がないと先細りとなる。広く意見を聞きながら皆で実行していけば、中郷区の農業の強みになる。

【竹内（靖）会長】

- ・地域協議会も、これからの農業について真剣に考えていきたい。今後も、情

報提供いただきたい。

【高橋（達）委員】

- ・中郷区農業の未来を考える会のメンバーはどのような構成か。

【関根G長】

- ・認定農業者、直接払い集落協定者の代表者、個別農業者3名、かかし市代表者、合計17人を、県、市、JAで選定。農業に軸足を置いて地域の将来を考えている。現在の事業主体は、県。

(関根G長退席)

【竹内（靖）会長】

- ・協議事項、新たな自主的審議事項に移る。6月に実施した住民アンケートの集計結果について、事務局より説明を求める。

【桐山班長】

- ・現時点での回答集計数は1,870件、未集計分が154件、最終的な回収率は約66%となる。
- ・未集計分は、各設問において、指定した回答数を超える記載のあったアンケートであるが、①全ての回答を無効とする、②該当設問のみ無効とする、③指定数を超えた回答も有効として集計する、以上3通りの集計が想定される。
- ・アンケート結果の公表について、自由記載欄に記載のあったコメント以外をA3判に編集し、地域協議会だよりを発行することでよいか。
- ・自由記載欄に記載のあったコメントも全て、住民と共有することが大切と考える。なかごう夏まつり会場に展示してはどうか。

【竹内（靖）会長】

- ・公表の方法について、事務局からの提案どおり自由記載欄のコメントも公表したい。

【高橋（達）委員】

- ・地域住民からも公表を期待する声を聞いている。自由記載欄のコメントも公表に賛成だが、分類別にするなど、少し整理が必要ではないか。

【竹内（靖）会長】

- ・公表方法については、事務局の提案どおりとする。
- ・未集計分の集計方法について、意見はないか。

【陸川（陽）委員】

- ・せっかくいただいた回答であり、もったいない思いもあるが、公平性を考え、思い切って無効にする。

【村越委員】

- ・多く回答した設問のみ無効にした方がよい。

【陸川（昇）委員】

- ・気持的には、全ての回答を反映したいが、公平性等を考慮し、指定数以上の回答があった設問を無効とすることで仕方ない。

【竹内（靖）会長】

- ・私自身は、回答をすべて反映したい気持ちが強かったが、皆さんの意見を反映し、指定数より多く回答があった設問は、無効とする。
- ・次に、アンケート結果から自主的審議事項のテーマについて、それぞれの意見を求める。

【宮川委員】

- ・とにかく雪についての意見が多かったという印象を受けた。年を取って除雪に苦慮している、買い物も大変といった状況が想定できるので、その辺の問題を解決できないかとの思いを強く持った。

【漆間委員】

- ・自分の将来を含め、高齢化により除雪や田の管理に不安を持っている意見を読み、切実な問題だと感じた。

【荒川委員】

- ・雪についての回答が多いが、中郷区内の道路除雪はどこよりもきれいにできていると思っている。本当に困っているのは、屋根雪除雪であり、特に高齢者が増えている中での対策を考えなければならない。

【高橋（達）委員】

- ・アンケート実施前から、雪についての回答はある程度想像していた。困っていることでもあるが、PRできることにも3番目に多い回答があることに注目したい。全体としては、高齢者が多い地域性を考えると当然の結果と思われる部分が多いが、今後のことを見据え、40代以下の若い意見も聞いていく必要がある。世代間での交流の機会が足りないと感じている。世代間で意見交換をする場を設定するためのソフト事業を提案できないかと考えている。将来に向けて協議していく事項と当面の問題を区分して進む必要がある。

【竹内（昭）委員】

- ・年代ごとに集計すると、また違った結果が見えてくるのではないか。その結果によって、対策を検討できるのではないかと思う。

【松原委員】

- ・雪で困っている回答が 1 番多い結果になっているが、中郷区ほど道路除雪が良い地域はないと思っている。大人を対象とした講座やイベントが少ないとの回答に関心を持った。子ども向けや高齢者向けのイベントはあるが、20代から50代くらいに向けたものが皆無。子どもを持つ親世代が、高田や直江津または新井地域の方が便利だと感じ、中郷を出て行ってしまいう原因になっているのではないか。

【村越委員】

- ・50代以上の回答が75%を超えている。若い世代のみの回答を集計すると結果の順位も変わってくるのではないか。その結果を分科会で活かしていきたい。

【陸川（昇）委員】

- ・雪に困っている回答が一番多いが、道路除雪は問題ないとの認識であり、高齢者が多いことから、雪下ろしに困っている人が多いと感じた。若い人にとって、中郷にアパートがないことも問題ではないか。親と離れて住みたいと思った場合に場所がない。空き家や空き地活用にもつなげられないかと感じた。

【陸川（陽）委員】

- ・優先すべき取組に対する回答を、複数の組み合わせで見ることが出来るのではないか。例えば、空き家対策と移住者受け入れなど。ただ、移住の場合、移住後の問題点も聞くので、いろんなことを想定しながら進む必要があると感じた。

【高橋（京）委員】

- ・自由記載に書かれた意見も含め全体を見て、人と人のつながりに不安を感じているのではないかと感じた。人のつながりを作ることは難しいと考えるが、それが求められていると感じた。これからのことを考え、子どもたちが住みやすい中郷を目指すことも大切だが、現在の人口構成で大多数を占めている高齢者のことを考える必要性を感じた。高齢者に寄り添わないと地域が成り立っていかない状況にある。
- ・個人的な思いもあるが、私自身、趣味の時間を過ごすときに妙高市に行くことが多い。妙高市にある「はね馬アリーナ」の駐車場は、いつもたくさん利用者の車が止まっている。中郷総合体育館の利用方法を見直すことで、中郷に住んでいる人たちの生活もより良くなるのではないかと思った。

【竹内（靖）会長】

- ・皆さんの意見は様々で一つにまとめるのは困難だが、9月までに形にしたい

という思いが強い。雪対策については防衛省から交付される調整交付金の使い方を意見書にまとめる方向としたい。講座やイベントの開催については、地域が主体となる取り組みを検討したい。世代間交流についても、まずは自分たちができるところから進める。空き家については、行政での取り組みが行われているので、情報を得ながら進める。

- ・地域を元気にするために必要な提案事業としてまとめるために、もう一步踏み込んだ議論をした中でテーマを絞りたい。これから、分科会に分かれ行政職員を交え、ワークショップ形式で協議していただく。

【全委員】

- ・3分科会（観光・産業、教育・文化、地域福祉）に分かれ、総合事務所の各班長を含めてそれぞれに協議を継続。

【15分後】

- ・分科会での協議概要を発表。

【竹内（靖）会長】

- ・今後は、アンケート結果を中心に、9月までに地域を元気にするために必要な提案事業としてまとめる課題を絞る作業と、時間をかけ整理していく案件とに分けて進む。各分科会での活動も自主的に続けてほしい。
- ・以上で、本日の会議を終了とする。
- ・次回の地域協議会は、7月26日（火）、18時30分からとする。

9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL:0255-74-2411(内線165)

E-mail:nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の報告案件に係る会議資料もあわせてご覧ください。

協議に係る公開資料はありません。